

こどもまんなか city の合言葉 「北九州市こどもまんなかスイッチ！」 ができました

北九州市では、こどもや子育て中の方、その周囲の方が、お互いに包摂性と寛容性を持つとともに、市民一人ひとりがこどもに関わり、育てるという気運を高めていくための合言葉を5つのアクションにして、「北九州市こどもまんなかスイッチ！」と決めました。

今後、広く市内に浸透するよう取り組んでいき、北九州市全体で「こどもまんなか city」の実現を目指します。

記

1 名称 こどもまんなか city の合言葉「北九州市こどもまんなかスイッチ！」
※市長公約「地域で子どもを育てる「子ども憲章」の制定」

2 内容 こどもと接する際、**大人が具体的な行動を起こすための「合言葉」**

(1) 前文 <投げかけ>

- ・リード文として、「自分が大人になって子どもたちにできることは何か」を投げかける文章
- ・語りかけるような言葉で編成



(2) 本文 <アクション>

- ・今日からできる5つのアクション
- ・聞いた人が自分もやってみようとする具体的な行動に繋がるもので、こどもにも伝わる優しい言葉で編成



※詳細は別紙をご覧ください

3 これまでの主な取組

- 令和5年8月 ① 一般向けアンケート (回答 10,528 人)
② こども(小・中学生)向けアンケート (回答 48,739 人)
- 11月 ③ 若者ワークショップ (11/24 こどもまんなかワークショップ)
- 令和6年3月 ④ 外部有識者による検討懇話会 (計3回開催)
- 6月 ⑤ みらい政策委員会(小・中学生)と意見交換 (計10回実施)
- 7月 ⑥ 起草委員会から北九州市へ提言書提出 (懇話会構成員の有志)
- 8月 ⑦ シンポジウム開催 (8/1 みんなでつくる子ども憲章会議)
- 9月 ⑧ 市民意見の募集 (130人・219件の意見提出あり)



4 今後について 広く市内へ浸透するよう、周知を実施

【問合せ先】子ども家庭局総務企画課 村上(課長)、島田(係長) TEL:093-582-2280



こどもまんなか city の合言葉

北九州市こどもまんなかスイッチ！

自分がこどもだった頃、大人ってどんなふうに見えていただろう。
いろいろなことを教えてくれる大人がいた。
いつも声をかけてくれる大人もいた。ときには、叱られたこともあった。

今、大人になって、こどもたちにできることはなんだろう。
大きなことはできないけれど、やさしく見守ることならできるかも。
こどもの頃に、近くで寄り添ってくれた大人のように。

まずはこどもの周りに、にこにこ笑顔があふれていることが、
だれもが始められるスタートライン。

このアクションが、合言葉となって広がり、
こどもが地域の「まんなか」になるように。
こどもも大人も、笑顔が絶えない北九州市になるように。

みなさんも、こどもまんなかスイッチを入れてみませんか？

<アクション>

- 1 こどもがいたら、みんなで「**にこにこスイッチ**」オン！
- 2 こどもとは、ひざをかがめて「**同じ目線**」で
- 3 こどもに教え諭（さと）すときには「**愛情いちばん**」
- 4 子育ては時に大変なことも。やさしく伝える「**大丈夫**」
- 5 こどもの周りには、いつもたくさんの「**ありがとう**」を

「こどもまんなかスイッチ」を入れ、アクション！

【アクション1】

こどもがいたら、みんなで
「ここにこスイッチ」オン！



▶まず大人がこどもに笑顔向け、こどもを笑顔にし、地域で笑顔の輪を広げよう！



【アクション2】

こどもとは、
ひざをかがめて「同じ目線」で



▶こどもを社会をつくっていく仲間として尊重し、その考えを受けとめよう。こどもと目線を合わせる時は大人の方から行動しよう！

【アクション3】

こどもに教え諭（さと）すときには、
「愛情いちばん」



▶こどもに教え諭すなど、大切なことをきちんと伝えるのも大人の役割。その時、そこに愛情があるか、自身に問いかけよう！

【アクション4】

子育ては時に大変なことも。
やさしく伝える「大丈夫」



▶子育ては、楽しいことだけでなく、大変な時もある。そのような時に、優しく寄り添い「心配ありませんよ」と伝えよう！

【アクション5】

こどもの周りには、
いつもたくさんの「ありがとう」を



▶「ありがとう」は、大人でもこどもでも言われるとうれしいと感じる言葉。このような言葉が、こどもの周りで交わされる温かな地域がいいね！